

「寂しい」男脳、「不安な」女脳

文 中野 信子

Text by Nobuko Nakano

**あなたの彼が浮気しがちなタイプか
遺伝子レベルで決められている**

サルやオットセイの雄は、自分の子孫を多く残すために、たくさんのメスと交尾をしようとします。実際に、ボスになれる強い雄は、それができます。実は、人間の男性にも、そういう本能があります。あるけれど、抑えて生きられる人もいるわけです。

ある調査によれば、男性は、一人のパートナーで落ち着けるタイプと、複数のパートナーを求めるタイプに、ほぼ6対4の割合で分かれるという結果が出ています。つまり、男性の半分近くは、浮気しがちなタイプだということです。

どちらのタイプであるかは遺伝子レベルで決まっており、変えることはできません。

**男性に好意を抱いてもらうには
自尊心をくすぐるのが近道**

人間の脳には「報酬系」と呼ばれる部位があり、それが刺激されると大きな快感を得ることがわかっています。そして、報酬系は女性よりも男性のほうがずっと活発に動いています。

報酬系を刺激する要素には、給料な

どが上がる「金銭的報酬」のほかに、「社会的報酬」があります。男性がこだわる出世や地位は、まさに社会的報酬です。

経営者や大金持ちでない限り、金銭的報酬はなかなか与えることができませんが、頭のいい女性は、社会的報酬を上手に使うことができます。

「あなたは本当に頼りになる人ね」
「あなたの活躍ぶりに感動しているのよ」

「あなたのおかげで、みんな助かっているの」

こうした自尊心をくすぐるひとことで、男性は喜び、その女性に好感を抱いてくれるでしょう。

**女性は不安になりやすいものと
心得ておくだけで、男はもてる**

子どもを産む性である女性は、育児の過程における不安要素を取り除こうという本能があります。だから、最終的に「自分を不安にする」タイプの男性を選ばないことが多いのです。

たとえば、小さな嘘をつく、ママに連絡をくれないといったことで女性は不安になります。でも、男性はそういうことがないので、不安になる女性の気持ちが変わらず、ちょっとした言動

でよけいに不安を与えてしまうのです。逆に言えば、そこさえ押さえればもてます。外見に自信のない男性でも、「女性とは不安になりやすいものなのだ」ということを心に留めて行動すればいいのです。



「男脳女脳 人生がときめく脳に効く言葉 セン＆アイ出版
定価…本体680円(税別)
セブンイレブン・セブンネットショップ
ピングで好評発売中！」

Profile

1975年、東京都生まれ。脳科学者、医学博士、東日本国際大学教授。東京大学工学部を卒業後、東京大学大学院医学系博士課程を修了。フランス国立研究所ニューロスピンで博士研究員として2年間勤務後、現在は脳科学の研究と執筆活動を行う。著書に『脳内麻薬』『サイコパス』『メタル脳』『キレル!』など。

